１　ワークショップ（交流会）

(1) ワークショップ展開案

① ワークショップ名

不登校問題解決に向けて

「子どもへの援助　一緒に考えてみませんか？－心のサインにそって、不登校の早期解決を図ろう！」

② ねらい

事例を中心としたワークを体験することを通して、

○子どもは、不登校の前兆としてどのようなサインを発するか、そのサインをどうアセスメントし、サインを発している子どもをどのように支援したらよいか、理解することができる。

○不登校のサインを発している子どもの心に寄り添いながら、不登校を早期に発見し、早期解決を心がけようという意欲をもつことができる。

③ 活動の意図性

参加者は、ワークを体験することを通して、理解と自信を深めながら、不登校早期発見・早期解決に向けての意欲を高め、自分自身の問題解決能力向上に役立てることができる。

④ 準　備

○体験用ワークシート

○ブレイン・ストーミング用付せん紙

○ブレイン・ストーミングまとめ用紙

○筆記用具・マジック

⑤ ワークショップ展開

ワークショップ活動内容	配時(分)	活動の留意点（ファシリテーター側）
◇本日のワークについての説明を聞く。	3	◆ワークのねらいや内容について、簡潔に説明する。 心のサインにそって、不登校の早期解決を図ろう！
◇グループに分かれ、ふれあいの活動をする。 ・各自自己紹介（所属・名前程度）する。終わったら、グループのメンバーは、必ず、拍手する。	2	◆参加者の緊張を和らげ、活動しやすい雰囲気をつくれるようにする。

◇ワーク１ 事例を読んで、事例に出てくる子どもが示す不登校のサイン・兆候について知る。	5	◆事例を読んだ後、書き出したサイン・兆候を発表してもらいながら、どんなサイン・兆候が見られたか、ファシリテーターが黒板にまとめる。
◇ワーク２ ブレイン・ストーミングの形態をとりながら、不登校のサイン・兆候を基に、子どもの状態を理解する。 ・集めたサイン・兆候から、子どもの状態をどのように理解するかを付せん紙に書き出す。 ・４人程度のグループで、理解したことについて話し合い、まとめる。	10	◆・子どもの立場に立って、理解するように助言する。子どもの心に寄り添う、というタイトル通り、子どもの心の理解の重要性も話す。 ・各グループでまとめ役を１人ずつ決め、話し合いの進行役になる。 ・まとめ役は、グループの考えをまとめ用紙を使って整理する。
◇ワーク３ ブレイン・ストーミングの形態を継続しながら、子ども・サインについて理解したことに沿って、対応策を考えていく。 ・各自付せん紙に書き出す。 ・引き続き４人程度のグループで、対応策について意見を交流し合う。	10	◆ワーク２同様、各グループ毎のまとめ役が活動（ブレイン・ストーミング）の進行役・まとめ役を務める。
◇不登校のサイン・兆候の理解とサイン・兆候に対する支援の方法について理解する。	5	◆各グループ毎に、まとめ役が話し合われた内容を、発表する。 ◆ワークの事例に基づいて、サインに対する適切な対応の方法について、解説する。 ※報告書Ⅸの７(Ｐ516～518)「不登校のサインに応じた対応策・支援策」参照
◇本日のワークについての振り返りをする。	5	◆グループ毎に、ワークを振り返り、気づいたこと・思ったこと・学んだこと等を自由な雰囲気の中で発表し合ってもらう。 ◆代表して、１～２人に発表してもらう。

(2) ワークシート

「子どもへの援助　一緒に考えてみませんか？」
－心のサインに添って、早期解決をはかろう！－

次の事例を読んでみましょう。

Ａ男は現在中学２年の男子です。１年の時は仲の良い５人組で一緒に行動し、明るく活発な子どもでした。２年の４月のクラス替えをきっかけに、仲の良いグループのメンバーも少し変わりました。クラスにも慣れて少し落ち着いてきた頃、ちょっとした悪ふざけがけんかに発展し、グループの友達とぎくしゃくした関係となりました。次第にグループに居づらくなり、休み時間も教室に一人でポツンとしていたり、教室にいないで特に用もないのに何かと職員室に出入りして、普段から親しいＢ先生のところに行って、勉強のことや趣味であるコンピュータのことを話したりする姿が見られました。担任のＣ先生は教科担当のＤ先生から「最近授業に集中しておらず、宿題などの忘れ物が目立つようになってきた。」と連絡を受けました。また、養護教諭のＥ先生からは、ここ数日授業中に気持ちが悪いと言って保健室によく来ているという連絡も受けました。

この直後、風邪をきっかけにして、３日間欠席しました。しかし、体調が回復しても母親が登校を促すと、だるさや頭痛や腹痛を訴えて、欠席するようになりました。

ワーク１

この事例の中に出てくるＡ男の不登校の兆候を示すサインにはどのようなものがありますか？

ワーク２

これらのサインからＡ男の状態をどのよう理解しますか？

ワーク３

この事例のＡ男への対応策としては、どのようなものが考えられますか？